

ガリ版で オリジナルドレス を描こう!

日時： 2016年8月6日(土)
13:30~16:00

参加費：1,500円

定員：先着15名

講師：水口 菜津子 氏

参加方法：事前申込制

※申込は当館HP お問い合わせフォームでお願いいたします。詳細は、当館HPのイベントページ (<http://www.pola-museum.or.jp/exhibition>) をご覧ください。

※当日はインクを使用しますので、作業しやすい服装でご来館ください。



ポーラ美術館では、開催中の企画展「Modern Beauty フランスの絵画と化粧道具、ファッションにみる美の近代」にちなんで夏休みのワークショップを開催いたします。19-20世紀の流行が世界に広まっていこうと、大きな役割を果たしたのが、ファッション雑誌、そして雑誌にとじ込まれた版画（ファッション・プレート）でした。

このワークショップでは、ファッション・プレートを参考にして、あなただけのドレスの図柄を描いていただきます。明治時代の大発明であり、その後長らく愛好された、昔懐かしのガリ版。大人から子供まで、幅広い世代のご参加をお待ちしております。

A. ガリ版って何だろう？

Q. 明治生まれの印刷器、謄写版（くわしやばん）の愛称。昭和の中頃まで、多くの人々の身近にあった印刷器でした。



A. ガリ版はどこで発明されたの？

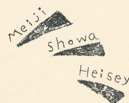
Q. 現在の滋賀県東近江市蒲生地区の近江商人、堀井新治郎親子によって、エジソンのミメオグラフをヒントに1894年「明治27」に製品化されました。

A. どんな材料をつかって版をつくるの？

Q. 当時から変わらない、薄し和紙にろう引きされた「ロウ原紙」、「鉄筆」、「やすり」です。



ガリ版？教えてコーナー



A. どんなふうに刷るの？

Q. 版をガリ切ってきた孔（あな）の上からインクをつけたローラーをころがし一枚ずつ刷ります。

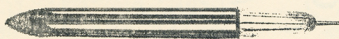


A. どんなものにも刷れますか？

Q. 様々な大きさの紙、布、インクを選べば、厚みや素材も多様なものに印刷できます。

A. どんな魅力があるの？

Q. シンプルな原理で、子どもから大人まで、それぞれの習熟度によって、多様に楽しめることです。



【講師プロフィール】

水口 英津子（みづぐち なるこ）
アーティスト。京都市在住。2006年京都市立芸術大学芸術研究科ビジュアルデザイン修了。2005年、当時は名前も知らなかったガリ版と出会い、ガリ版新聞の発行、配布を通じて様々な人々からガリ版について学ぶ。現代のアートとしてガリ版の新しい表現や可能性を追求しながら、各地でガリ版ワークショップ、ガリ版の魅力を伝える活動を行う。



ポーラ美術館

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小家山1285
TEL: 0460-84-2111 (代表)
<http://www.polariumuseum.or.jp>